

**第239号 紙面案内**

第2面 ……理事会報告

第4面 ……平成18年度年次総会のご案内

**実・学一体とKAE**

—「文献研究」のすすめ—

副会長 増田茂樹 (愛知産業大学)

このところ、この学会の研究活動は「学会名称の『教育』に傾斜してしまい、本学会創立の初心から逸脱」(1984年1月、『会報』第53号、山城章「新春の感想三題」)してしまっていないか。「経営学そのものが経営教育であり、経営能力の育成こそが経営学である」(同上、山城)。本学会は「経営学そのものの学会として出発した」(同上、山城)。「実践的たらんとしてむしろ実際に墮し、『学会』の名に値しないのではないか」(1981年3月、『会報』第19号、山城章「第4回大会の課題」)。

真の経営学は「実・学一体」の論理に基づき「KAE」の方法において行われねばならない。経営の知識・原理・理念・哲学(K)を学び、経営の実践(E)を通じて経営を学び、自らの経営能力(A)を育成する。その意味において、真の経営学はそれの「方法性」において「実践経営学」であり、その「課題性」において「経営教育」である。

本学会は創立されて四半世紀を経た。学会活動は多岐にわたり充実し発展した。しかし、本学会の創立者・故山城章先生が20年前、本学会の草創期に指摘した冒頭の言葉を、ここでもう一度謙虚に受けとめ、原点に帰って新たな四半世紀に歩を進めなければならない。

教育といっても、自ら、自らの経営能力を育成する、すなわち自己啓発(self-development)という意味での教育であって、「学者」が「経営者」を、あるいは「学生」を教える、すなわち他己啓発という意味でのそれではない。「実・学一体」の論理で、主体的に経営能力を育成する。そこでは、「KAE」の方法をとらざるを得ない。経営能力(A)を育成するには経営実践(E)が必要である。と同時に経営の知識・原理・理念・哲学(K)が必要である。Kの獲得なしにEもAもない。経営学の「文献」は経営実践の中から、少なくとも経営実践を考慮して生まれたものであって、まさにKの宝庫である。「文献研究」なくして能力育成はできない。「徒らに抽象と理論にはしることなく」(上掲1981年、山城)、まさに「実・学一体」の論理で、「KAE」の方法において「文献研究」がなされるべきである。山城先生は、この学会でことあるごとに、「もっとアカデミックに、もっとオーソドックスに」と言っていた。忘れてはならない。

理 事 会 報 告
-----------

平成18年3月24日(金)15時から、東洋大学3号館3206教室において理事会が開催されました。以下、その内容をご報告します。

(1) 第53回全国研究大会のプログラムおよび準備状況について

主催校の和光大学より、平成18年6月23日(金)から25日(日)にかけて開催される第53回全国研究大会のプログラムおよび準備状況が報告され、了承された。

(2) 第54回全国研究大会の開催候補について

第54回全国研究大会の開催候補として流通科学大学の名があげられた。

(3) 『経営教育事典』の進捗状況について

齊藤毅憲副会長を中心に準備が進められている『経営教育事典』の進捗状況について、齊藤先生からのファックスが紹介された。原則として全会員に執筆して頂く方針で原稿依頼をしたが、ご執筆頂けないケースが多々あり、第2弾、第3弾の執筆依頼をせざるを得なくなったことなどについて、了解が求められた。

(4) アメリカ経営学会経営教育部会への派遣報告者について

平成18年8月11日～16日にかけてジョージア州アトランタで開催されるアメリカ経営学会経営教育部会への派遣報告者として、須田敏子氏(青山学院大学大学院国際マネジメント研究科助教授)が内定したことが紹介され了承された。報告テーマは、「A change in Japanese Management Education System: comparison with the UK」である。

(5) 韓国経営教育学会との交流について

韓国経営教育学会との学術交流について、報告者交換プログラム、論文交換プログラムなどが検討され、本年度は、日本側からの派遣報告者は送らないが、韓国側からは報告希望があること、両学会が推薦する論文1編を交換し、学会学術誌に掲載することなどが了承された。

(6) 選挙管理委員会の設置について

第53回全国研究大会では理事の改選がなされるために、選挙管理委員会の設置が必要であり、会長から松本芳男氏(日本大学)、川端大二氏(愛知学泉大学)、白川美知子氏(九州共立大学)の3名が選挙管理委員として提案され、了承された。

(7) その他

各地域部会長から、部会活動の経過が報告された。

会員の入退会に関して、19名の新入会員、27名の退会、法人会員の退会3社が認められた。

以上

## 日本経営教育学会第53回全国研究大会プログラム

統一論題「グローバル“共創”時代の人材教育－実・学一体の経営教育を踏まえて－」

平成18年6月23日（金）～6月25日（日）

（会場）和光大学

【大会第1日目】6月23日（金）

施設見学	株式会社日本航空ジャパン 東京都大田区羽田空港3-5-1 M1ビル
集合場所・時間	場所：東京モノレール 新整備場駅出口 時間：13：30 セキュリティ上、参加者リスト未登録者、遅刻者は入場できません。
理事会・委員会	別階の会議室にて開催 16：00～18：00

【大会第2日目】6月24日（土）9：00 受付開始

自由論題報告 9：30～11：05（報告30分、コメント5分、質疑10分）

第1報告 9：30～10：15 院生セッション			
	A会場 (H-301 教室)	B会場 (H-302 教室)	C会場 (H-303 教室)
テーマ	「イギリスにおける病院経営のガバナンス」	「インド財閥の事業と方向性」	「日本のバイアウトにおけるトップ・マネジメントの経営行動－アンケート調査の結果から－」
報告者	小島 愛 (明治大学大学院)	ビシュワ・ラズ・カンドル (創価大学大学院)	杉浦 慶一 (東洋大学大学院)
コメンテーター	文 載皓 (富士常葉大学)	木村 有里 (杏林大学)	文堂 弘之 (常磐大学)
司会者	水谷内徹也 (富山大学)	バンバン・ルディアント (和光大学)	酒井 甫 (青森中央学院大学)
第2報告 10：20～11：05			
	A会場	B会場	C会場
テーマ	「集団特性の分析手法を用いた、組織文化と組織風土の統合モデルの検証」	「ゼネラルエレクトリック社の全社レベル戦略の論理」	「退職給付会計基準導入後の制度変更と問題点－受給権への影響を中心として－」
報告者	北居 明 (大阪府立大学部)	芦澤 成光 (玉川大学)	篠原 淳 (山口大学)
コメンテーター	佐々木利廣 (京都産業大学)	遠藤 健哉 (成城大学)	弓削 忠史 (九州共立大学)
司会者	大平 義隆 (北海学園大学)	小原久美子 (県立広島大学)	小林 麻里 (早稲田大学)

統一論題報告（報告40分、コメント5分、質疑15分）

第1報告 11：15～12：15 (J-401 教室)	
テーマ	虚業の研究・再考－現代経営教育を踏まえて－
報告者	山崎 和邦 (武蔵野学院大学)
コメンテーター	小椋 康宏 (東洋大学)
司会者	小山 修 (札幌大学)

＜ 昼 休 み ＞

【大会第2日目】6月24日（土）（午後）

The Academy of Management との報告者交換プログラム 13:15～14:15 (J-401 教室)

テ ー マ	Trends in Global Leadership Development: The Challenges, Opportunities and Best Practices
報 告 者	Dr. Carolyn Wiley (アメリカ経営学会経営教育部会・2005-2006 年度部会長、Principal, CARWIL Management & Associates, Dublin, Ireland)
司 会 者	飢富 順久 (和光大学)

統一論題報告 (報告40分、コメント5分、質疑15分)

第2報告	14:25～15:25 (J-401 教室)
テ ー マ	ドイツにおける管理者人材養成の専門性と組織性
報 告 者	岩井 清治 (桜美林大学)
コメンテーター	増田 茂樹 (愛知産業大学)
司 会 者	厚東 偉介 (早稲田大学)

特別講演 15:35～16:35 (J-401 教室)

テ ー マ	21世紀の日本と経営トップの役割
報 告 者	富山 和彦 (株式会社産業再生機構 代表取締役専務 COO)
司 会 者	樋口 弘夫 (和光大学)

年次総会	16:40～18:00 (J-401 教室)
懇 親 会	18:20～20:00 (体育館:パレストラ)

### 平成18年度年次総会のご案内

下記の要領にて平成18年度年次総会を開催致しますので、ご出席下さいますようお願い申し上げます。なお、今回の総会では役員改選の選挙が行われます。総会を欠席される場合は、必ず委任状を送付するようお願いいたします。

#### 記

1. 期日 平成18年6月24日（土）
2. 時間 16:40～18:00
3. 会場 和光大学 J-401教室
4. 議題 (1) 平成17年度活動報告並びに収支決算の件  
(2) 平成18年度活動計画並びに収支予算の件  
(3) 役員改選の件  
(4) その他

以上

【大会第3日目】6月25日(日) 9:00 受付開始

自由論題報告 9:30~11:05 (報告30分、コメント5分、質疑10分)

第3報告 9:30~10:15			
	A会場 (H-301 教室)	B会場 (H-302 教室)	C会場 (H-303 教室)
テ ー マ	「組織における道徳的問題の起因」	「持続的競争優位の意義と戦略遂行のあり方—競争優位性の維持・衰退・更新—」	「若者の自発的離職行動と人材育成の課題」
報 告 者	中村 秋生 (共栄大学)	谷 保範 (愛知学院大学)	草田 清章 (愛知産業大学短期大学)
コメンテーター	小笠原英司 (明治大学)	吉村 孝司 (明治大学)	逸見 純昌 (松蔭大学)
司 会 者	中條 秀治 (中京大学)	井上 善海 (広島大学)	亀川 雅人 (立教大学)
第4報告 10:20~11:05			
	A会場	B会場	C会場
テ ー マ	「独自性のある歯科衛生士教育システム開発に関する調査研究」	「コンピューター産業における組織間関係維持に関する研究」	「海外派遣者の異文化適応要因」
報 告 者	小原 啓子 (広島高等歯科衛生士専門学校)	澤井 雅明 (日立製作所)	田中 利佳 (九州情報大学)
コメンテーター	杉田あけみ (千葉経済大学短期大学部)	王 耀鐘 (関西大学)	フィリップ・ドボル (創価大学)
司 会 者	池田 玲子 (城西国際大学)	大野 義雄 (愛知学院大学)	植松 千里 (名古屋外国語大学)

統一論題報告 (報告40分、コメント5分、質疑15分)

第3報告 11:15~12:15 (J-401 教室)	
テ ー マ	グローバル共創企業の人材育成
報 告 者	内田 賢 (東京学芸大学)
コメンテーター	杉原 英夫 (九州共立大学)
司 会 者	西田 芳克 (山城経営研究所)

< 昼 休 み >

統一論題報告 (報告40分、コメント5分、質疑15分)

第4報告 13:15~14:15 (J-401 教室)	
テ ー マ	山城経営学にもとづく KAE 経営道フォーラムにおける経営教育
報 告 者	萩原 道雄 (萩原経営研究所)
コメンテーター	櫻井 克彦 (中京大学)
司 会 者	木村 敏夫 (流通科学大学)

◆訂正とお詫び◆

会報第238号第2面でご案内いたしました平成18年度第1回関西部会日程が間違っていました。お詫びいたしますとともに以下のように訂正させていただきます。

(誤) 7月3日(土) → (正) 7月1日(土)

## 平成17年度第2回中部部会報告(平成18年3月開催)

草田 清章(愛知産業大学短期大学)

平成18年3月4日(土)14時より、第33回中部部会が愛知産業大学名古屋サテライトで23名の参加者を得て開催された。

第1報告は、加藤浩康氏(ビジネス研究所)による「企業統治の態勢確立と実践-危機管理対応の事例を中心に-」、司会・コメンテーターは、水野伸一郎氏(愛知産業大学短期大学)であった。加藤氏は、企業統治の原点を「社会を動かす主役である人間」「金儲け至上主義からの脱出」「法令遵守」の観点から詳細に報告され、いま危機管理に求められるものは「政・官・業・メディア」のリーダーが職業人である前に、「良識ある日本人」として国民とともに共通の考動基準を持つことであり、日本人としての誇りを持ち、社会人(リーダー)としての夢を持つことの重要性を強調された。

第2報告は、堀田友三郎氏(愛知産業大学)による「コミュニティビジネスが起業家育成に果たす役割-若者の就業意識調査から考察する-」、司会・コメンテーターは、上嶋正博氏(相山女学園大学)であった。堀田氏は、深刻化する若者の就業意識を現場の一教員として、また愛知雇用創出企画会議委員として詳細に報告され、若者と職業とを結びつける架け橋としてのコミュニティビジネスの4つの価値(①若年者を直接雇用する場、②キャリア形成支援の場、③若年者自身による起業の場、④新しい価値観を学ぶ場)を導出されるとともに、価値の実現に向けた支援策が今後の課題となることを強調された。

それぞれの報告終了後には活発な質疑応答がなされた。引き続き、櫻井部会長を議長として次回開催校等に関する議事が審議された。

報告会終了後、懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中会員間の交流が深められた。



平成18年度第1回の中中部部会報告会は、11月11日(土)に中京大学で開催の予定です。中部部会事務局では、随時報告募集を行っております。報告を希望される方は堀田友三郎

(愛知産業大学経営学部 〒444-0005 愛知県岡崎市岡町原山12-5)までお知らせください。  
TEL0564-48-4511 e-mail:hotta@asu.ac.jp

## \*会費納入のお願い\*

まだ平成17年度の会費を納入していない方は、至急、納入の手続きをとるよう、お願い申し上げます。

総務委員長 松本 芳男

## 編集後記

会報第239号をお届けします。来月には和光大学(東京都町田市)で第53回全国研究大会が開催され、会員各位の日頃の研究成果が報告されます。誘い合わせの上ご参加ください。会報へのご意見・ご感想もお待ちしております。

上野 哲郎・青淵 正幸

発行 日本経営教育学会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-4  
株式会社山城経営研究所(担当:寿)  
TEL 03-3264-2100 FAX 03-3234-9988  
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp  
URL: http://www.j-keieikyoku.jp/